

栃木県吹奏楽連盟＜季刊＞広報誌 2013 年 3 月号

吹奏太郎



目 次

- ★ 理事長 巻頭言 「私の思う"負けるな一茶ここにあり"」 1
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

- ★ 1. 第13回栃木県吹奏楽ソロコンテスト参加者の感想 2
平成25年2月2日(土)実施
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：栃木県教育会館

- ★ 2. 第11回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト参加者の感想 2
平成25年2月24日(日)実施
主催：公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部
会場：東京音楽大学Jスタジオ

- ★ 3. 平成24年度栃木県吹奏楽講習会報告・参加者の感想 3
平成25年2月9日(土)10日(日)実施
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：宇都宮市文化会館

- ★ 4. 第18回東関東アンサンブルコンテスト出場団体の感想 6
平成25年1月26日(土)27(日)実施
主催：東関東吹奏楽連盟 会場：茨城県牛久市中央生涯学習センター

- ★ 5. コンサート情報 7
栃木県吹奏楽連盟加盟団体から広報部に寄せられたコンサートの情報です

- ★ 6. クリニック情報 8

- ★ 編集後記
栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之(作新学院高校)



「私の思う"負けるな一茶ここにあり"」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

吹奏楽に携わる先生方のご活躍に感謝申し上げます。

近頃、部活動の現場における困難な指導に老婆心ながら一言申し上げます。

私たち指導者にとって、体罰による教育（精神面も含め）の在り方を十分に問題視し、子どもたちを指導するにあたって一代転換期とせねばならない時期であると思います。体罰による指導は害あって利なしとされています。

‘時には’ということも考えがちですが、自分の感情を抑えることが大切です。1, 2, 3と深呼吸をして別の教え方があることを見い出すことが必要です。

しかし、教師には懲戒権があります。懲戒の指導を不適切にしてしまったり、逃げてしまったりすると児童・生徒を教育する面で教師失格になりうることもあります。

増してや、部活動ともなると、教師一人の心得一つで、全て変えることができる半面、教師たる本質さえもが崩れてしまうことにもなりかねません。

部活動は子供たちの個性を伸ばし、一芸を見出す場であり、強い精神力（忍耐力）を作り上げる立派な教育の場であります。

また、子供たちには心寂しい時もあり、悪ふざけを超えた行動を取ったり、褒められたいがために甘えもあつたりしますが、真剣に怒ってほしがるときもあります。そんな時、真剣に向き合わずに指導をせず、無関心であると不信感を抱かれがちになることでしょう。

吹奏楽部の目的は音楽を上手にさせ、楽しませることにあると思いますが、それ以上に活動の過程において、いかに我慢をさせて、集中力と団結力を養わせるかが大きな主点であると思います。

昨今、多くの教師が学校内で教えることに不安を抱き、逃避することを考えがちになることを危惧しますが‘負けるな一茶ここにあり’の精神で体罰のない教育に全精力を注がれることを望みます。

間もなく四月、新入生を迎えるには、どうすれば吹奏楽部員が一人でも多く入部してもらえるか色々と考える必要があります。校内で新入生のためにミニ・コンサートを開くことも一つの策であり、如何に管楽器に関心を持たせられるか一年（世）一代の四月です。

が・ん・ば・っ・て・ください。吹奏楽部の先生！



第13回栃木県吹奏楽ソロコンテストの参加者の感想

「栃木県吹奏楽ソロコンテスト大会に参加して」

日光市立今市第三小学校 5年 本村 美雨

「ソロコンテスト」にはお姉ちゃんがブラスバンド部に入っていたこともあって、まだ楽器を吹いていないころから演奏を聴きに行っていました。ピアノの伴奏に合わせて一人でお姉ちゃんの姿を見て「いつか私も舞台に立つことができたらなあ」と思うようになっていました。

そして5年生になり、あこがれていた「ソロコンテスト」の舞台に立てることになりました。でも学校代表に選ばれた時はうれしさより不安のほうが大きくなっていました。それはブラスバンド部に入って練習を重ねていくうちに、一人で曲を演奏する大変さが分かってきたからです。部活から帰ってからも毎日練習しました。

本番をむかえ初めて舞台に立った時は、それまでに感じたことないほど緊張してしまい、楽譜も見えず、足のふるえも止まりませんでした。でもやっとあこがれの舞台に立つことができ、少し失敗もしてしまいましたが、なんとか最後まで演奏することが出来ました。結果「グランプリ」を取ることが出来てうれしかったことと、毎日練習した成果が出たことで自分に自信を持つことが出来ました。

私は楽器を演奏することが大好きです。これからも今まで以上に練習をして、6年生になる来年もソロコンテストに出場できるようにがんばり「グランプリ」を目指し、小学校最後の1年間を充実させた1年にしたいです。



第11回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストの参加者の感想

「第11回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

高根沢町立阿久津中学校 2年 野中 駿

僕は、第11回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに参加しました。県大会で準グランプリをいただき県代表になったことは、今までで一番嬉しい出来事でした。

しかし、それと同時に本当に自分が県の代表でいいのか、自分より上手な人がいたのではないかなと思うようになりました。そんな時、先生方、部活の仲間、親戚、家族に「凄くよかったよ、また頑張ってね」とたくさんの言葉をかけてもらいました。そのおかげで、それまでの不安が自信にかわりました。僕はこの日から、今まで応援してくれた人達に恩返しをするつもりで、時間のある限り一生懸命練習をしました。

そして、大会当日。東京音楽大学Jスタジオは、小さいですがとても響くホールでした。

本番まで時間があつたので、他の出場者の演奏を聞くと、上手な人ばかりで、緊張してきました。その焦りからなのか、本番前のチューニング室ではいつもできていたことができませんでした。そしてその焦った気持ちのまま本番を迎えることになりました。その時僕は、先生から言われた「いつも通り」という言葉を思い出しました。すると、楽しんで演奏しようという気持ちに変わり、本番は、自分の思うような演奏ができました。そして結果は最優秀賞、さらに、全国大会に出場することになりました。

全国大会では、今まで応援してくれたみんなに感謝し、いつも通り楽しんで演奏したいと思います。そして、これからも人を感動させる演奏ができるように頑張っていきたいと思います。





平成24年度栃木県吹奏楽講習会報告・参加者の感想

「平成24年度 栃木県吹奏楽講習会報告」 研修部部长 岩 原 篤 男

- 1 日 時 平成25年2月9日(土)～10日(日)
- 場 所 宇都宮市文化会館(全館使用) <高校モデルバンド宿泊所:日刊イン宇都宮鹿沼>
- 2 招聘高校並びに講師 千葉県立幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ部 総勢103名
部顧問 佐藤 博先生
- 3 栃木県中学校高校より選抜モデルバンド生徒 中学校より80名 高校より80名 合計160名
- 4 受講参加者 小・中・高校生 776名、一般 124名、2日間通し 29名、総受講生計929名
- 5 講習内容 第1日目 招聘高校と栃木県選抜中・高校生モデルバンドとの合同練習
第2日目 各楽器別講習 午前:初級基礎中心 午後:応用と技術アップ
(Fl, Ob, Fag, Cl, Sax, Tp, Hn, Tb, Euph, Tuba, StBass, Perc)

発表会 招聘高校とモデルバンドの公開練習並びに公開リハーサル鑑賞
第一部 千葉県立幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ部演奏

祭—YAGIBUSHI Brass Rock 福田洋介 編曲
鉄道メドレー サックスアンサンブル
マウスピース マニア ウェア マホーン 作曲
ラスベガスを喰いつくすゴジラ エリック ウィテカー 作曲
風伯の乱舞 石毛里佳 作曲 佐藤 博 編曲
宇宙戦艦ヤマト 宮川 泰 作曲
序曲「ピータールー」 マルコム アーノルド 作曲

第二部 幕張総合高校と県内A・Bモデルバンド共に

Aモデルバンド ポップスマーチ「すてきな日々」 岩井直博 作曲

ラピュタ〜キャッスル・イン・ザ・スカイ〜 久石 譲 作曲 森田一浩編曲

Bモデルバンド スターパズルマーチ 小長谷宗一 作曲

スピリティッド・アウェイ

「千と千尋の神隠し」より 久石 譲 作曲 森田一浩編曲

全メンバーと一緒に コンサートマーチ「アルセナール」ヤン・ヴァン・デル・ロースト作曲

<生徒の反省から>

1 モデルバンドに参加して

1) 千葉県立幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ部の演奏など感想

- ・吹きながら振り付けやダンスをしているのに演奏にズレがない。演出をする人も笑顔をやさず踊っていた。
- ・行動が早く、返事も大きくて基本的なことができてから、音楽に対する気持ちも前向きなんだと思った。
- ・パート練習は、自分の意見を先輩後輩関係なく出していた。
- ・一人一人がすごく楽しそうに吹いていてメリハリがあり、聴いている側も楽しい気分になれた。



- ・旋律を出すのではなく、周りが押さえることで、がなった音楽ではなくきれいな音楽が出来るのだと思った。
- ・演出も司会も恥ずかしがらずにやっているから、すばらしいものになるのだと実感した。
- ・パフォーマンスの見せ方など演奏会をやるのにとても参考になった。
- ・一日中吹きっぱなしなのに、本番でほとんどミスなく演奏できることに感心した。
- ・自分の練習不足を感じた。もっと譜読みをすれば良かった。全然出来なくてみんなに迷惑をかけた。
- ・幕総の人たちのレベルの違いに圧倒された。基礎が違いすぎた。最近私が学んだことが普通にあたりまえに行われていた。技術が全然おいついていかなかった。(音程の正確さ、ヴィブラート等)
- ・舞台演出が上手で、椅子の出すタイミングや司会のトーク力、又影など小道具を使っの場面はGood。
- ・演奏の音量が大きくなってもバランスがくずれない。見ていて聞いていてとても楽しめた。
- ・吹奏楽だけでなく、弦楽器など充実していた。管と弦がきれいに混ざり合っていて感動した。
- ・パート練習やいろいろ質問をしたり、話す機会が少なくてちょっと残念でした。
- ・演奏の差だけでなく、普段の行動面においても大きな差を感じた。
- ・演奏では特に迫力だけでなく一体感に包まれていて、最初に聴いたとき息が詰まりそうでした。



2) 県内モデルバンドとして、参加して

- ・様々な学校の人たちと演奏し、今の自分にかけている所や練習方法の違いなどいろいろ学べた。
- ・他の学校と交流でき、吹奏楽の仲間が増えた。今まで他の高校と一緒に練習したり、演奏しなかったののでいろいろ参考になった。他の人の音楽感も知れて良かった。
- ・事前にもっと譜面を読んで、言葉とかも調べておくべきでした。
- ・栃木県は、他県より遅れているので又レベルが低いのでもっとこういう行事を充実すべきだと実感した。
- ・他の学校がどんな練習をしているか、情報が交換できた。めったに一緒に演奏できない上位の学校と演奏でき大変よかった。
- ・中学生ができていて、自分が出来ていないのでショックだったし、自分のレベルの低さを感じた。
- ・初対面の人たちとこうやって練習するのは、最初は心配していたがいろいろ勉強になり良かった。

3) 講師(佐藤博先生)への感想

- ・レッスンがすごく分かりやすく大変良かった。一つ一つの指示が的確だった。
- ・短時間の指導でも、すごく効率が良く高密度なもので、すごく感動した。
- ・すごく内容が濃い練習で、音楽の作り方を学ぶことができた。

4) 改善してほしい点

- ・人数が多いのでしょうがないのかもしれないが、指示が通りにくい。声が聞き取れないことが多い。
- ・次の行動についての指示などうまく連絡が行き届かず、戸惑っている人が多く見られた。
- ・タイムテーブルをより詳しく。幕総と栃木の人とで連絡が違う時がある。やたら予定表が多くわかりづらい。

- ・文化会館の地図があっても迷うから最初は案内する人がほしい。
- ・栃木県はこういう活動などどんどん取り入れて、もっと積極的に活性化すべきだと思います。
- ・入退場などの段取りが悪かった。



2 実技講習会に参加して

1) 良かった点

- ・基本から丁寧に教えて下さったので、今までおろそかにしていた部分がよくわかった。
(頭部管のみの練習、楽器の組み立て方、息の入れ方、スケール、ヴィブラート等)
- ・先生の音と自分の音とではどれくらい違っているのか、よくわかった。
- ・出にくい音の出し方など、細かく教えてもらえた。
- ・人数が少ない所では、一人にかかる時間が多く、充実した。先生の音を近くで聞けてイメージが膨らんだ。
- ・悪い例などや、苦手な奏法など改めて教わったので良い機会となった。
- ・ただ話を聞くだけでなく、全員で参加できる講習会だったので、たくさん勉強になった。客席までおりて行って熱心に指導してくれた。
- ・基礎から応用まで多岐にわたって良かった。
- ・こうなるとダメな吹き方とか、実演があり良かった。
- ・基礎練習では、メトロノームを使用することとか、吹く前にはブレスコントロール、バズィングをすることとか、基礎の基礎から見直す必要を感じた講習でした。
- ・1つ打ちや2つ打ち、ロールなどの基礎的なところが確認できた。詳しくフォームなどを説明してくれた。
- ・自分のたたき方を見直せた。脱力することでいい音が出ることがよくわかった。
- ・ティンパニなどの楽器の調整の仕方から練習の仕方まで教えてもらえた。
- ・もう少し発展した内容のレッスンだと良かった。初心者には有意義な会だと思うが、経験者には物足りない。

2) 改善してほしい点

- ・会場のセッティングなど人数を考慮してほしい。
- ・初級、中上級の内容が始まる前、わかりにくいので困った。
- ・「音程の合わせ方」など、どんなことをするのかあらかじめ教えてほしかった。
- ・もっと広い会場で、中上級の講習は、内容をタンギングやアンサンブルの基礎だったのでほかにも演奏技術(例えばヴィブラートなど)に重視してほしい。質を上げてほしい。
- ・午前も午後も中学生初心者向けの内容だったので高校生は退屈だったのではないだろうか。
- ・受講生が、午前と午後では人数が違って戸惑った。立ちっぱなしの人や講師の声が聴きづらいなど改善を。
- ・いろいろな学校が集まったのだから、より刺激しあうような講習であればと感じた。
- ・効率よく練習するためのメニューや基礎練習など紹介してほしい。

- ・空気の入れ換えをお願いしたい。(人口密度が高く、酸素が足りなくなったかのような感覚。)
- ・人が多く先生が見えない人がいた。不公平感があった。練習台がなく、椅子をたたいている人がいた。
- ・持参品をもう少し徹底すべきだと思う。

「講習会についてAグループの代表として感じたこと」

作新学院吹奏楽部 星野 ゆり

今回二日間の講習会の代表をさせて頂き学んだことが沢山ありました。周りをきちんと把握する事、率先して意見を述べる事、特に自分の発言や行動には責任感を持つ事を意識して今回代表をさせて頂きました。代表になり一番大変だったことは、人数が88人以上いるので全員に伝えることでした。伝える前に、担当の先生に確認をしたり、伝える時は細かく丁寧に説明する事を心掛けました。またBグループの日程も先読みし、誰にでも説明できるようにしました。演奏面で大変だったことは、部員の倍以上いる中で私の音をどう生かすかが大変でした。私はピッコロパートが一人だったので、音が埋まらないようにしました。ホール練習中自分の音が浮いてるように感じましたが、先生の的確なアドバイスによって合奏に溶け込めるように感じました。今回の講習会で、私は、今できる最大限のことを的確にこなす事が、これからの私に必要な事だと思いました。



「講習会について、Bグループ代表として感じたこと」

作新学院吹奏楽部 襲田 央恵

今回の講習会を通して私は、Bバンド代表になったことや幕張総合高等学校との交流から様々なことを学びました。Bグループ代表になった時は頑張ろうと思う反面、慣れないことばかりで不安でした。代表の仕事の中で一番苦労したことは指示を回すことでした。バンドの中に県内各地の学校から人が来ているため指示が上手く伝わらなかったりしました。ですが、講習会で仲良くなった人を始め、多くの人に支えてもらい良かったです。また、幕総との合同練習は私に大きな影響を与えました。幕総は皆立場、学年関係なく積極的で、なぜ素晴らしい演奏ができるか分かった気がします。学校ごとのカラーややり方があるので全てを真似しようとは思いませんが、良い部分を取り入れようと思います。今回様々な経験ができ、講習会メンバーとして出させていただいたことに感謝すると共にこれからも作新学院吹奏楽部の雰囲気を守りつつ、良い部活になるよう努力しようと思います。



第18回東関東アンサンブルコンテストに出場団体の感想

「第18回東関東アンサンブルコンテストに出場して」

真岡市立真岡東小学校 6年 隅内 隼人

練習の時間がなかなかとれず、土日の合奏練習のあとに、少し残って練習をする程度でした。だから一回一回の練習に全力で取り組むように心がけました。その結果、東関東大会に出場できて、とてもうれしかったです。本番前はとても緊張していましたが、演奏が始まってからは、楽しく演

他の学校の演奏を聴いて、演奏のレベルが県大会の時よりも上がっていると感じました。県代表で来ているだけあって、とても上手で素晴らしかったです。

前年度、今年度と2年連続で出場することができ、そして金賞という結果を残すことができて、とてもうれしかったです。今回指導していただいた先生方、応援していただいた皆様に感謝しています。ありがとうございました。

「第18回東関東アンサンブルコンテストに参加して」

宇都宮大学教育学部附属中学校 2年 杉山 桃子

昨年度のフルート三重奏では、栃木県アンサンブルコンテストで惜しくも銀賞という悔しい結果に終わりました。その時から、「来年は必ず東関東大会に出場する！」という気持ちが大きく芽生え、東関東大会に出場することを目標として練習に励んできました。

私たちの学校では1月に中学入試を行うため、放課後はほとんど学校で練習することができません。そのため、公共施設での練習が毎日のように続けました。時には壁にぶつかることもあり、思うように練習が進まないこともありましたが、近藤先生は厳しくも温かい心で私たちを指導してくださいました。

深みのある音色を求めて、厳しい練習が続く中で、常に私の頭の中に残っている言葉がありました。それは、県大会の表彰式で、石塚武男理事長がおっしゃっていた「練習はウソをつかない」という言葉です。私たちが東関東大会に出場できるのは、厳しい環境の中で練習に励んできたご褒美で、時間とともに自信がついていくのを不思議と感じ取ることができました。

大会当日、私は緊張した気持ちで会場に向かいました。会場は今まで味わったことのないような熱気に包まれ、この素晴らしい雰囲気の中で演奏できる幸せをかみしめながら演奏することができました。結果は金賞でした。私たちにとって、この金賞は特別なものでした。

東関東大会に出場して得たことは数え切れないほどあります。心をひとつにして演奏することの楽しさ、大切さ、素晴らしさ…共に笑い、共に涙しながら練習した日々は、かけがえのない宝物です。今までたくさんの人たちに支えられて、東関東大会出場という貴重な体験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。すてきな音楽を創り上げ、幸せを届けられることができるように、これからも頑張っていきたいと思います。熱心にご指導してくださった近藤先生、いつも温かく見守ってくれた家族、そして私たちを励ましてくれたすべての方々、本当にありがとうございました。



コンサート情報

第2回East Music Concert (栃木県立宇都宮東高校・附属中学校音楽部)

平成25年3月24日(日) 13時30分開演 栃木県教育会館・大ホール 入場無料

演奏曲目: 合唱 無伴奏女声(同声) 合唱のための『7つの子どもの歌』より 他

吹奏楽 ディズニールランド50周年セレブレーション、オペラ座の怪人メドレー 他

栃木県立石橋高校吹奏楽部第8回定期演奏会

平成25年3月24日(日) 14時00分開演 小山市文化センター・大ホール 入場無料

演奏曲目: ヴェルドレス, Once upon a time, 美女と野獣より 他

第2回 スプリングコンサート(宇都宮市立星が丘中学校吹奏楽部)

平成25年3月28日(木) 14時00分開演 栃木県総合文化センター・サブホール 入場無料

演奏曲目: 未定 他

第35回 日光市立日光中学校吹奏楽部定期演奏会

平成25年3月28日(木) 15時00分開演 日光市今市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目: アストロラーベ, 2013全日本吹奏楽コンクール課題曲, アルメニアンダンス パートI 他

第2回 国本中学校吹奏楽部定期演奏会

平成25年3月30日(土) 13時30分開演 国本地区市民センター 入場無料
演奏曲目: 歌劇「トゥーランドット」より, J. POP vol1, 他

ゲスト: 晃宝小・国本中央小合同バンド

第5回 宇都宮南高校吹奏楽部定期演奏会

平成25年4月29日(月・祝) 14時開演 宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目: アルプスの詩, ハウルの動く城, 2013全日本吹奏楽コンクール課題曲より 他

作新学院高校吹奏楽部 フレッシュ・グリーンコンサート

with ワート・バークカレッジコンサートバンド

平成25年5月11日(土) 14時00分開演予定 宇都宮市文化会館・大ホール

入場料 前売り・大人 800- 高校生以下 500- (当日券は各 200-増)

演奏曲目: 2013全日本吹奏楽コンクール課題曲, 2013ニュー・サウンズ・イン・プラス,

ゲスト: アメリカ合衆国アイオワ州ワート・バークカレッジコンサートバンド

問い合わせ先 吹奏楽部 090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~18時

第48回 真岡高校吹奏楽部定期演奏会

平成25年6月16日(日) 14時開演 芳賀町民会館 入場無料

演奏曲目: 未定

第7回 茂木高校音楽部定期演奏会

平成25年6月2日(日) 14時開演 芳賀町民会館 入場無料

演奏曲目: 未定



クリニック情報

第44回 日本吹奏楽指導者クリニック 2013 JAPAN BAND CLINIC

日時: 平成25年5月17日(金)~19日(日) 会場: 静岡県浜松市・アクトシティ浜松

~そうだクリニックへ行こう~とところで、いつ行くの? ~「5月でしょ!」~

詳細はホームページで確認をしてください。

◆初級指導者講座

バンドスタディI

指揮法講座 基礎編

バンドスタディII 合奏指導法 基礎編

演奏の前に 木管編・金管編・打楽器編

初めての吹奏楽指導 運営編

初めての吹奏楽指導

レパートリー研究

マーチングパーカッション講座

マーチング講座 前編

~さあはじめよう! マーチング~

マーチング講座 後編~ステージドリルに挑戦!~

◆中級指導者講座

楽器別講座

指揮法講座応用編

バンドスタディIII 合奏指導法

ステップアップ講座

マーチングお悩み相談室

◆上級指導者講座

サクソフォンアンサンブル講座

日常練習の公開

バンドスタディIV 音楽料理法 クラシック編

バンドスタディIV 音楽料理法 ポップス編

レパートリー研究講座

◆特別講座

コンサートに役立つステージパフォーマンス
「バンド活動の未来を語る」
バンド指導に役立つソルフェージュ講座
ハーモニーディレクターの活用法講座
小編成バンドの合奏指導
コントラバス講座

◆小学校指導者講座

小学校指導者講座Ⅰ 資料研究
小学校指導者講座Ⅱ 合奏指導法
小学校指導者講座Ⅲ みんなで語ろう

◆その他

相談コーナー
楽譜・CDの展示販売
楽器展示・試奏
管楽器工場見学
出展ブース
21世紀の吹奏楽"響宴"

日本の作曲家とともに交流会

編集後記



栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之(作新学院高校)

2012年12月に大阪府立桜宮高校のバスケット部監督の度重なる体罰によって一人の尊い命が奪われるという痛ましい事件が発生し、皆さん胸が痛んだことでしょう。自分自身に照らし合わせても、とりわけ若かりし頃の指導力のなかった自分を恥ずかしく思い、現在の日常の指導についても現状のやり方で良いのか自問の日々が続いています。指導者の皆さんの中にも同じような思いを持たれた方が多かったのではないのかと考えています。たとえ一生懸命指導にあたった結果としても、つい勢い余って発したきつい一言がどれだけ子ども達を苦しめたことかと反省するしかありません。そうかといって、気の入らない味気ない指導では子ども達はついてこないでしょうし、硬軟混ぜ合わせたバランス感覚溢れる指導が求められていることは言うまでもありません。

指導者は未だ発展し続ける吹奏楽の指導法を理解し、常に新鮮な気持ちを忘れることなく、決してマンネリ化することなく指導者の創意工夫によって子ども達を飽きさせない意義ある活動を心掛ける事が求められます。

先日本校では卒業証書授与式が挙行されました。その前日には吹奏楽部恒例の送別会が行われ、全員が満面の笑顔に包まれ、平成24年度の活動の意味や互いの絆を確かめ合うことになりました。私事になりますが、ちょうど桜宮高校の事件の前後(11月)から2月くらいまでの期間は長い教員生活の中で様々なストレスからやる気をまったく殺がれていたこともあり、この送別会は再び私にがんばろうという強い意識を呼び起こしてくれました。在校生達は忙しい中を卒業する先輩達のために目一杯の感謝の気持ちを表し、全員合唱では皆が感動の渦に包まれ涙が溢れました。卒業生達の一人一人の感謝の挨拶の言葉には3年間の思い出と同時にその成長ぶりが凝縮されていました。すると、嫌な出来事が重なり、どんなにやる気を失いふさぎ込んでいたとしても、いつも傍らには私を支えてくれていた吹奏楽部員達がいたことを気がつかされたのでした。音楽はしばしば人の心を和ませ、悲しみに打ちひしがれていても勇気を与えてくれます。この世の中から決してなくなるものなのです。吹奏楽をやっていて良かった。

ますます難しい時代が続きますが、バランス感覚を失わず、子ども達を大切に思う気持ちを忘れず、新年度を迎えましょう。

また、広報誌に対する要望・意見・感想などお待ちしております。是非お寄せください。